

平成 26 年 11 月吉日

会員各位

一般社団法人宮城県作業療法士会  
教育部長 紀國谷 恵子  
(公印省略)

一般社団法人 宮城県作業療法士会主催

## 平成 26 年度 第 2 回～第 8 回 「現職者共通研修」研修会のご案内

(旧名称 「新人教育プログラム」)

拝啓 時下ますますご清祥のことと、お慶び申し上げます。

さてこの度、当作業療法士会では下記の通り研修会を開催することになりました。現職者共通研修の各テーマで、ご講演頂きます。各テーマの講師、研修目的は、別紙の通りになっています。

これらの内容について、理解を深め、今後それぞれの職場で役立てて頂ければと考えております。是非、皆様の参加をお待ちしております。

尚、この研修会は日本作業療法士協会生涯教育制度:現職者共通研修(旧名称 新人教育プログラム)各テーマに該当します。

敬具

### 記

日 程 : 平成 26 年 12 月 13 日 (土)、14 日 (日) ※各テーマの受付・研修時間は、別紙をご参照ください。

会 場 : 東北文化学園大学 3 号館 4 階 3459 教室

〒981-8551 仙台市青葉区国見 6-45-1 (JR 仙山線「国見駅」下車徒歩 3 分)

TEL022-233-3310

参加費 : 1 テーマにつき、宮城県作業療法士会会員 1,000 円/宮城県作業療法士会非会員 2,000 円

☆ 当日受付にて、参加費を徴収させていただきます。その際に、生涯教育手帳に捺印致しますので、忘れずに手帳をご持参ください。

☆ 当日は会員証 (OT 協会会員証と県士会会員証) もしくは H25 年度会費の支払い証明となる領収書をご持参ください。H26 年度会費未納者は非会員扱い、もしくは単位が取得できません。

参加対象者及び定員 : 日本作業療法士協会会員 80 名

定員となり次第締め切らせていただきます。連絡がなければ参加可能ということで、ご了解ください。

申し込み : 宮城県作業療法士会事務局 FAX 022-263-0098

〒980-0802 仙台市青葉区二日町 18-25 シャルム二日町 603 号

申込方法 : FAX での申込み [締切 12 月 5 日 (金)]

同封の申込み用紙に必要事項をご記入の上、お申込みください。

尚、公文書の必要な方は、11 月 28 日 (金) までにお申し込みください。

### \* 必ずお読みください \*

#### 生涯教育制度改正についての対応

- H20 年度、生涯教育制度の改正がありました。
- H20 年度以前に日本作業療法士協会に入会の会員の方は、以下の点にご注意ください。
  - ・ テーマについて…受講テーマ数の変更があり、廃止・統合される旧テーマがあります。ただし、旧テーマは、新テーマのいずれかに該当しますので、各自ご確認ください。
  - ・ 生涯教育手帳について…改正に伴い、テーマの読み替えをいたします。日本作業療法士協会から送付されている「新テーマ表」を各自生涯教育手帳に貼付の上、ご持参ください。当日、受講された方から順次読み替え作業を行います。

#### 聴講制度について

受講済みのテーマを重複して単位登録することはできませんが、現職者共通研修の対象外の方も含め、自己研鑽のために研修に参加できる、「聴講制度」を設けています。ご希望の方は、FAX 申込み用紙にて、単位取得済みにチェックし、申込みを行ってください。

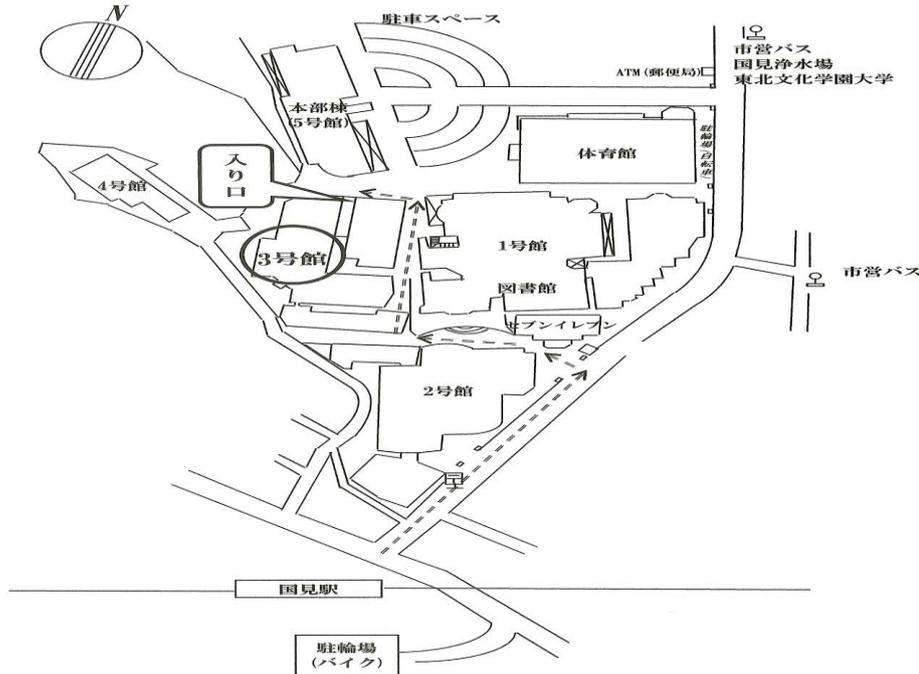
#### 申込み後の注意点

- ・ キャンセルする場合は、12 月 12 日 (金) 12 時までその旨を FAX でご連絡を下さい。連絡がないまま欠席の場合は後日参加費を徴収させていただきます。
- ・ 20 分以上遅刻すると、単位修得を認められない場合がありますので、時間厳守をお願いいたします。
- ・ 会場周辺には駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用ください。また、昼食を準備できる場所もほとんどありませんので、各自でご持参ください。

問い合わせ先 : 東北文化学園大学 作業療法学専攻 勅使河原 麻衣

〒981-8551 仙台市青葉区国見 6 丁目 45-1 電話 022-233-6113

○東北文化学園大学 研修会会場 案内図  
3号館 4階 3459教室



12月13日(土) 実施テーマ・学習目的及び受付・研修時間

**第2回 現職者共通研修会**

11:00~11:10 受付

11:10~12:40 「実践のための作業療法研究」

講師：王 治文氏（東北文化学園大学）

【研修目的】

- 1) 研究を通して、専門知識・技術の創造と開発に努め、作業療法の発展に寄与する必要性を理解する
  - (1) 作業療法実践におけるエビデンス「科学的根拠」の必要性を学ぶ
  - (2) エビデンスを作り出す研究方法を理解する
  - (3) すでに発表されている研究の重要性を理解する

12:40~13:40 昼休憩

**第3回 現職者共通研修会**

13:30~13:40 受付

13:40~15:10 「作業療法の可能性」

講師：藤井 貴氏（東北保健医療専門学校）

【研修目的】

- 1) 作業療法における社会資源を活用した地域生活支援について理解する
  - (1) 地域生活支援という観点から作業療法の役割を知る
  - (2) 地域生活支援のための社会資源（各種居宅サービス、住宅改修制度など）の活用方法を知る
- 2) 作業療法の可能性を実感する
  - (1) 保健・福祉の領域で作業療法が担っている役割について知る
  - (2) 社会・環境・教育・工学・人間システムなどの観点から作業療法が果し得る役割を考える
  - (3) 作業療法士による起業の現状と地域のニーズについて知る

**第4回 現職者共通研修会**

15:10~15:20 受付

15:20~16:50 「日本と世界の作業療法の動向」

講師：佐藤 善久氏（東北福祉大学健康科学部

リハビリテーション科）

【研修目的】

- 1) 日本の作業療法と作業療法士の現状を理解する
- 2) 世界の作業療法と作業療法士の現状を理解する
- 3) 国際交流・国際協力の役割・実際を理解する

12月14日(日) 実施テーマ・学習目的及び受付・研修時間

**第5回 現職者共通研修会**

9:00~9:30 受付

9:30~11:00 「職業倫理」

講師:大黒 一司氏(東北文化学園大学)

【研修目的】

- 1) 専門職としての職業倫理を高める重要性を理解する
- 2) 作業療法(士)に関連する法規や社会保障制度について理解する
- 3) 作業療法士の職業倫理に関する問題解決能力を高める

**第6回 現職者共通研修会**

11:00~11:10 受付

11:10~12:40 「事例報告と事例研究」

講師:稲毛 義憲氏(東北福祉大学健康科学部  
リハビリテーション科)

【研修目的】

- 1) 作業療法における事例報告の重要性を理解する
  - (1) 作業療法実践における事例検討の意義を知る
  - (2) 事例報告と事例研究の関係を理解する
  - (3) 事例報告のまとめ方、方法を知る

12:40~13:40 昼休憩

**第7回 現職者共通研修会**

13:30~13:40 受付

15:20~16:50 「保健・医療・福祉と地域支援」

講師:渡部 達也氏(訪問看護ステーションわざケア)

【研修目的】

- 1) 作業療法士として地域生活移行支援ができるために保健・医療・福祉にまつわる現状とリハビリテーションの関連性、支援方法を理解できる
  - (1) 保健・医療・福祉におけるリハビリテーションの枠組みについて理解する
  - (2) 当該地域社会の特性および現状を理解する
  - (3) 地域生活における作業療法(作業療法士)の役割を認識する

**第8回 現職者共通研修会**

15:10~15:20 受付

15:20~16:50 「作業療法における協業・後輩育成」

講師:伊藤 明海氏(東北福祉大学健康科学部  
リハビリテーション科)

【研修目的】

- 1) 対象者・家族との信頼関係の築き方を学ぶ
- 2) 作業療法・他職種それぞれの専門性を理解し、連携のとり方を学ぶ
- 3) 職場における後輩育成の意義と方法を学ぶ
- 4) 臨床実習指導に必要な知識と学生気質を理解する

「現職者共通研修」(旧称「新人教育プログラム」) 研修会申込用紙

(FAX の場合は、この用紙をそのまま送信してください。)

○平成 26 年度 第 2 回～第 8 回「現職者共通研修」研修会への参加申込みを致します。

送 信 先	施設名：宮城県作業療法士会事務局
	住所：〒980-0802 仙台市青葉区二日町 18-25 シャルム二日町 603 号
	FAX : 022-263-0098

発 信 者	所属施設名：
	住所：〒
	氏名：
	FAX： Tel：

＝申込み注意事項＝

\* 下記に所属施設名、電話番号、参加申込者氏名、宮城県作業療法士会会員・非会員の別をご記入の上、**参加申し込み研修会へ○を付け**、かつ該当単位修得の有無の欄に○を付けてください。

**申込締め切りは、平成 26 年 12 月 5 日 (金) です。**

\* 日本作業療法士協会会員の方は協会 No. の記載をお願いします。(宮城県作業療法士会非会員の方でも日本作業療法士協会会員の方はご記載ください。)また、宮城県作業療法士会以外の方は、所属県士会名もご記入ください。

\* **公文書の必要な場合、○を付け、枠外へ公文書宛名、送付先住所をご記入の上、平成 26 年 11 月 28 日 (金) までに** 申込みをお願い致します。締切りに遅れた場合、公文書が発送で出来ない場合がございますので、ご注意ください。

\* 各研修会に関する問い合わせは、問い合わせ先、担当者へ、指定の方法をお願い致します。

所 属 連絡先電話番号	氏 名 および 日本作業療法士協会 会員 No.	宮城作業療法士会会員 別所属県士会	研修会申込み (空欄に○をつけて下さい)	該当単位 修得の 有 無	公文書
Tel ( )	日本 OT 協会 No. _____	宮 城 O T 士 会 会 員 / 非 会 員 ( 所 属 県 士 会 : )	第 2 回『作業療法研究』	済 ・ 未	要 ・ 不
			第 3 回『作業療法の可能性』	済 ・ 未	
			第 4 回『日本・世界の OT 動向』	済 ・ 未	
			第 5 回『職業倫理』	済 ・ 未	
			第 6 回『事例報告と事例研究』	済 ・ 未	
			第 7 回『保/医/福と地域支援』	済 ・ 未	
			第 8 回『OT における協業』	済 ・ 未	
			第 2 回『作業療法研究』	済 ・ 未	
第 3 回『作業療法の可能性』	済 ・ 未				
第 4 回『日本・世界の OT 動向』	済 ・ 未				
第 5 回『職業倫理』	済 ・ 未				
第 6 回『事例報告と事例研究』	済 ・ 未				
第 7 回『保/医/福と地域支援』	済 ・ 未				
第 8 回『OT における協業』	済 ・ 未				
Tel ( )	日本 OT 協会 No. _____	宮 城 O T 士 会 会 員 / 非 会 員 ( 所 属 県 士 会 : )	第 2 回『作業療法研究』	済 ・ 未	要 ・ 不
			第 3 回『作業療法の可能性』	済 ・ 未	
			第 4 回『日本・世界の OT 動向』	済 ・ 未	
			第 5 回『職業倫理』	済 ・ 未	
			第 6 回『事例報告と事例研究』	済 ・ 未	
			第 7 回『保/医/福と地域支援』	済 ・ 未	
			第 8 回『OT における協業』	済 ・ 未	
			第 2 回『作業療法研究』	済 ・ 未	
第 3 回『作業療法の可能性』	済 ・ 未				
第 4 回『日本・世界の OT 動向』	済 ・ 未				
第 5 回『職業倫理』	済 ・ 未				
第 6 回『事例報告と事例研究』	済 ・ 未				
第 7 回『保/医/福と地域支援』	済 ・ 未				
第 8 回『OT における協業』	済 ・ 未				

☆ 公文書の必要な方は以下にご記入ください。

氏名：

公文書宛名：

送付先住所：〒